



Address : Osaka YMCA, 1-5-6 Tosabori Nishiku Osaka 550-0001 Japan
Phone : (06)6441-0893

11

2012

主題 (2012/2013)

国際会長	Be the light of the world 「世を照らす光となろう」	Share your blessings in love 「恵みを愛もて分かち合おう」
アジア会長	Years bring wisdom 「歳月はY'Sをワイズ(賢者)にする」	Action vitalize life with strength 「行動が活力を呼び覚ます」
西日本区理事	Let Y'smen Light Shine before Others In the club, in the community in the world 「先頭に立ってワイズの光を輝かそう クラブで、地域で、国際社会で」	
中西部長	Let's nurture Y's dynamic spirit! 「ワイズの活力を育てよう」	
大阪クラブ会長	Let's spread the Y's spirit 「広げよう ワイズメンのこころ意気」	

会 長	北 村 知 三
直前会長	牟 田 大 盛
副 会 長	清 水 汎
	脇 本 博
	森 嶋 弘 明
	豊 島 正 利
書 記	尾 和 信 盛
会 計	松 原 伸 幸
プリテン	田 尻 忠 邦
連絡主事	

【今月の聖句】

「愛には偽りがあってはなりません。悪を憎み、前から離れず、兄弟愛をもって互いに愛し、尊敬をもって互いに相手を優れたものと思いなさい。」

新約聖書ローマの信徒への手紙 12章 9 ~ 10 節

【11月例会プログラム】(BF 強調月間)

とき：2012年11月13日(火) 18:15 ~ 20:15

ところ：大阪土佐堀YMCA 9階

司会 脇本 博
北村 知三会長

1. 開会の鐘
2. クラブソング
3. ゲスト・メネット紹介
4. 会長報告
5. 「日々の糧」 斉唱・晚餐
6. スピーチ 石橋ルキメン
テーマ：「私の履歴書」
7. 誕生日・結婚記念日のお祝い・ニコニコ
8. インフォメーション
9. YMCAニュース
10. 閉会の鐘

受 付：田尻・豊島・森嶋



於：10月例会



チャリティラン



大阪YMCA創立130周年記念シンポジウム

【第2例会のご案内】

とき：2012年11月20日(火) 19:00 ~ 20:30

ところ：大阪土佐堀YMCA 6階 601号室

(変更になることがありますので、ご注意ください。)

今月の誕生日：宇野義男（28）

メネットさんお誕生日：崔 金順（15）

ご結婚記念日：田尻忠邦（03）脇本博（24）

【聖句に寄せて】

宇野 義男

最近、‘性格の相違’とかいう理由の離婚が多くなっていると言われていました。

昨年、教会で、結婚式を挙げた知人の息子が今年の春離婚したことを聞かされました。結婚の重要性を語ることは、私にとって大変困難なことだが、強調したいことの一つは、結婚の幸福は結局のところ、結婚を達成させるためと、その結婚を永続させるための努力如何にかかるといえるものであるという、まことに平凡なことにあると思います。‘性格の相違’を言葉の解釈だけでなく、その背景にあるものを含めて別の言葉に言い換えると、‘相性が悪い’という表現があります。結婚生活に関する限り、相性とは、協力しようとする意思がなければ、生まれにくいし、育てようとしなければ、たとえ相性が良くても消えてしまう。相性はあるものではなく、つくるものではないだろうかと思えます。

【10月出席状況】

10月出席状況		在籍	例会出席	アメ ツイ ブク	メ ネ ット	ゲ ス ト	ビ ジ ター	出席率	二献 コ金 ニ コ
	正会員	15	12		2	2	1	80.0%	17,000円
	功労広義会員	2							
	合計	17	12		2	2	1		

10月例会の出席者

メネット：北村信子会長、崔金順メネット

ビジター：森本栄三メン（スピーカー・大阪高槻クラブ）

ゲスト：村井達司さん（脇本博メンご友人）、能勢嘉則さん（牟メンご友人）

10月BF リーストコイン 清水汎メン 103円

【クラブ役員会報告】報告者：書記 牟 大盛

日時：2012年10月16日(火) 19:00～21:00

場所：大阪土佐堀YMCA 603号室

出席者：北村知三会長・脇本博・石橋ルキ・松原伸幸・牟大盛メン

協議事項

1) 11月例会：（大阪ワイズメンズクラブ創立の月）

石橋ルキメンの講演 演題「私の履歴書」

司会：脇本博メン 受付：田尻・豊島・森嶋メン

食事：@¥1000（お弁当）シンエイフード

プロジェクターの準備要

* 12月11日 クリスマス合同例会：茨木クラブとの合同例会

キャッスルホテル 18:30開始、清水汎メンご紹介のソプラノ・ピアノ

伴奏 総費用6万円を茨木クラブと折半とする。

新会員入会式(村井達司氏、能勢嘉則氏)、

会費@¥6000-(HHOBOGや孫メットは@¥2000)

チャリティーオークションを実施し、全て大阪YMCAにクリスマス献金とする。

ニコニコ献金は人数割り

2)IBCについて:パサデナクラブへの孫メットホームステイの件

訪問期間変更について:

清水汎孫メットの予定により、11月中に訪問の予定とのこと。

3)EMC推進の件

新規加入対象者については、12月のクリスマス例会での入会の予定者。

現在の新入会対象者:村井達司氏、能勢嘉則氏2名と予定する。

その他:入会者キットは尾和会計に依頼する。

4)HH支援事業の件

「HHキャンプリダー会」設立の件

2012年10月11日設立総会:初代会長 西村智恵OG

リーダー会の位置づけについて:あくまでYMCA・ワイズの聴覚障がい支援事業

(HH)キャンプリダ会として独自の運営を前提とする。

2013年 第2回 国内HHキャンプ開催の件:次回拡大委員会に委ねる。

京都プリンスクラブHH国際キャンプ報告会訪問の件:11月3日マイマイへの説明会(京都YMCAにて)にHH国際キャンプの経緯報告に牟メンが参加して、発表する。

5)中西部行事

11月3日(土)土佐堀カーニバル(11:00~14:30分間)

:焼ソバ屋台とHH国際キャンプ報告会

焼きソバ準備:森嶋メンに材料・機器を依頼する。

大阪クラブ受付担当:13:30-14:30間

6)その他:中西部行事を中心に

東北大震災復興支援プロジェクト:2003年2月23日(土)「いきいきエイジングセンター」で各クラブで販売ブースを設けて、震災支援事業をする。;大阪クラブも1ブースを持って、「焼きそば」販売の予定

6)その他:

次期クラブ会長の件につき協議した。

11月17日 センテニアルクラブ30周年例会:

現在の参加者 北村会長・脇本博メンご夫婦・石橋・牟メン

10月27日(土)大阪YMCA創立130周年記念イベント(大阪Y会館)

13:00-17:30 特別記念講演・基調講演・パネルディスカッション
記念礼拝

18:30-20:00 記念パーティー(リッツカールトン大阪)

参加者:北村知三会長・脇本博副会長

【10月例会報告】

脇本 博

ようやくしのぎやすい季節となり、12月入会予定の能瀬さん、村井さんを迎えて定刻に10月例会が開催されました。会長報告では、10月8日のチャリティランで我がクラブのHHグループは、順位は良くありませんでした。惜しいことに元気過ぎて目標タイムより早く走りすぎたそうです。企業からの応援もあり、およそ300万円の献金額になったとのこと。11月20 - 21日六甲ソフトウェアキャンプで施設内のペンキ塗りです。ボランティア募集の案内があり、北村会長が参加予定されていましたが、その後ユースリーダーの参加が少ないため中止となりました。11月3日の土佐堀カーニバルでは大阪クラブは受付が担当です。13:00から15:00までです。多くの方々のご参加を期待しています。例年どおり森嶋メンの大きなご支援があります。今年は10階ベランダで焼きそばを作って、8階に運びそこで販売することになります。OB & OG達も昨年からは手話講座などの開催を考慮中とのこと。12月にはYMCAのチャリティーコンサートが開催されます。チケットは500円、収益はクリスマス献金となります。

来年2月23日には大阪YMCAが大阪市から管理を委託されている「いきいきエイジングセンター」(南森町)で東日本復興支援事業が開催されます。中西部の主催です。多くの方のご支援をいただき、風化しつつある大震災被害を今一度思い起こし、支援して欲しいとお話でした。

いよいよ本日のメインイベントです。元西日本区理事 高槻クラブの森本栄三メンの「マザーテレサに学んだ奉仕の心」というお話です。

ノーベル平和賞を受賞したマザーテレサはあまりにも有名で、森本メンがなぜマザーテレサと出会ったのか大変興味のあるところ。森本メンは若い頃建築会社に勤めておられ、建築事業には大小ともに事故が付き物。会社は事故が発生すれば当時の厚生省に事故の発生状況や労働災害を届け出る義務がありました。日本の高度成長の時代で建築ラッシュでもあり、事故が絶えることはありませんでした。ほぼ年間60件位の事故報告を厚生省に届けていました。会社からの指示で森本メンは事故調査と防止責任者の担当となり、上京して厚生省の担当官と面識を持つようになりました。森本メンの仕事熱心さでその後事故は0となりました。担当官の憶えも良く、良い関係を持てたようです。本省へ仕事で出向いたある日、マザーテレサの講演会があるので、代わりに行ってくれないかと言われたそうです。引き受けて出かけますと、マザーテレサは講演会終了後大阪へ来る予定だそうです。大阪まで道中一緒し、また同じ宿舎で一泊することになりました。彼女のエネルギーの塊のような人という印象を受けたそうです。ここでマザーテレサのよき知遇を得て、森本メンはマザーテレサの家に招待されます。VIPルームと言っても4畳半くらいの広さで扇風機一台の粗末な部屋だったそうです。

パワーポイントでマザーテレサの作った福祉施設やインドの町の人々の姿が紹介されました。彼女の二つの言葉を紹介されました。「愛の心を忘れてはいけない。どれだけ与えるかではなく、どれだけ愛を込めるかが大切。小さなことでも愛を込めた行いは大きな意味を持つ」、「裸の人には衣服を着せてあげるだけでなく、人間としての尊厳も着せてあげましょう」。最後に森本メンは「ワイズダム発展のため力を合わせて頑張りましょう」という言葉でむすばれました。これを機会にマザーテレサのことをもう少し知りたいと思いWikipediaで調べて見ました。大変興味深いです。是非インターネットご覧下さい。

ご自分に与えられた仕事上の責任を立派に果たされたからこそ、人との新しい出会いが生まれ、そこからより一層素晴らしい人との知遇が得ることができたのではと失礼ながら私なりに感じました。森本メンのいつもの飾り気のない淡々としたお話に奉仕の心と情熱を感じ取ることが出来ました。

【2012チャリティラン参加報告】

会長 北村 知三

10月8日(月・祝)大阪城公園で第18回大阪YMCAチャリティーランが開催されました。今年も体育の日にふさわしい好天でした。ここ数年来大阪クラブの役割担当は、千里クラブと阪和部の泉北クラブと

ともに受付ですが、両クラブの熱心なお働きぶりで後方支援に回っています。9時に奥田実行委員長（大阪土佐堀）と、今大会オフィシャルスポンサーの三菱商事総務部長のご挨拶があり、その後順位制から競技が始まりました。1チーム6人で1人1キロを走りますが、野田中学校の陸上部などはとても早く、やはり日ごろ練習している若いランナーのチームが上位となりました。

続いての宣言チーム制の競技では、大阪クラブがスポンサーのHHキャンプOB OGチームが、黙々とさわやかに走りを楽しんでくれました。申告した宣言タイムが余裕を見すぎたせいで、その割に早く走ってしまい、順位は良くありませんでしたが、この10年来の定番となったHHキャンプチームは、チャリティーランには欠かせないものとなってきました。ランナーは、高土雄輔さん、吉田亜衣さん、辻本有香さん、勝矢千晶さん、田淵優花さん、福本繭美さんの6人でした。

今年も約50チームが走り、全チーム登録費など合計330万円余の支援金が発表され、奥田実行委員長から末岡総主事に壇上で手渡されました。このチャリティーはわれわれの助けを必要としている障害児支援プロジェクトとして献金されます。チャリティーランに係わったすべての人々の支援の賜物です。表彰式では末岡総主事（大阪）、江見中西部長（大阪なかのしま）、正野阪和部長（大阪河内）から上位表彰チームに賞状が渡されました。クラブの皆様からお預かりした抽選券のうち上位当選は皆無でしたが、閉会后森之宮まで散策し、カレー店「印度屋」でHHキャンプランナー慰労昼食会を持ちましたことは、恒例のものとなりました。クラブからの参加者は、清水（汎）さん、條さん、田尻さん、北村、北村メネットと、大阪YMCAの末岡総主事でした。

【大阪YMCA創立130周年記念シンポジウム・礼拝報告】 牟 大盛

10月27日（土）13：00 - 16：30大阪YMCA創立130周年シンポジウムが土佐堀Y会館903号室で、130名程のYMCA役職員とワイズメンの面々で開催された。本日は、長丁場の記念式典が継続する予定です。

まず、13：00 - 14：00は特別講演、14：00 - 16：30は記念シンポジウム、16：30 - 17：30分は10階の礼拝堂で、記念礼拝があり、その後ホテルに場所を移しての記念パーティと続きます。私は、記念礼拝までのプリテン担当ということで記事に臨みます。

まず、末岡祥弘総主事の開会のご挨拶です。「これからのグローバル人材」の育成こそ、YMCAが指向すべき方向であり、あらゆる価値観の変動の時期においてははっきりした方向性をもってあたらしいYMCAの座標を定めたいとの力強いご挨拶でした。

つづいて、第一部の特別講演は、星野俊也大阪大学教授の「これからのグローバル人材に求められるミッション（使命）とは」との題目で特別講演がありました。星野教授は、学会だけでなく、国際安全保障学会理事や数多くの国際機関と関わっておられるだけでなく、現在大阪大学院国際公共政策研究科長、教授であります。これからの若い人材は、「グローバル」つまり今の地域社会と世界は直結していることを常に認識する必要があることを強調され、世界平和の使者となるミッションを常に担うべきとも強調されました。

第二部のシンポジウムは、田中治彦上智大学教授による、「若者の居場所と参加～グローバル時代のユースワークを求めて～」という題目で基調講演がありました。高度成長期は、個人の成長と社会の発展の方向性が一致しており「将来のために、現在を犠牲にしてもがまんして努力する。」であったが、低成長期（現在）は、社会の方向性が一定でないため、個人が成長する感覚をもちにくく「将来はわからないので、現在に生きる。」とする不確実な時代となる。また、YMCAのグループワーク方法論は高度成長期の手法では大変優れたものであったが、低成長期の場合は指導法に限界があり、「集団」から「個人」へのいわゆる、居心地のよい場所、安定した人間関係、近未来への展望の安心できる「居場所」造りが要求される時代を迎えているとのこと。また、ロジャー・ハートの8段階の「子供の参画」を紹介されながら、徐々に子供をグルー

ブに参画させながら最後は、リーダーが完全に手を離す必要性を説明されました。

最後に「地球市民育成」のためには、国際理解・開発教育 アクションリサーチ国際理解・開発教育
国際交流 グループワークのバランスが必要と強調されました。

基調講演につづきまして、岩坂二規関西学院大学准教授・大阪Y常議員の司会により3人のパネリストを
交えてのパネルディスカッションです。

まず、YMCA表現コミュニケーション学科の高校担当の、近藤麻衣さんです。

高校時代に経験した9.11の同時多発テロを契機にアラブ・イスラムについて学びたいとアラビア語を
専攻し、2009年にYMCA同盟主催第1期「地球市民育成プロジェクト」研修に参加、その後YMCA
の海外活動に参画した逸材です。地球市民とは「Global Citizen is you and global citizen is me」つま
り、自己の存在そのものが地球市民であることの気づきが大切で、心の傷を海外奉仕でかえって癒される場
合が多いとの意見でした。

続いて、大阪YMCA国際専門学校・ボランティアコースで2年間学び、貿易業を経てJICA研修業
務やPHD協会の研修担当として事務局長を務めている、坂西卓郎さんです。PHD協会でアジアの村から
研修生を招いている経験から、グローバル人材は「特に、アジア地域に向かっては語学よりも日本の国の侵略
の歴史などを語れることや、日本式的生活自体が環境を破壊していることの理解が大切」との意見でした。

最後に、立命館大学・アメリカン大学の国際関係学部を卒業し、京都南九条の不法滞在者地区のNPO支
援、大阪Y統括本部勤務、国際NGOワールド・ビジョン・ジャパン勤務、ウズベキスタン駐在時 障がい
者の社会参加に取り組み、現在は㈱コーエイ総合研究所に勤務し、主にJICAの調査、評価、事業実施業
務に携わる西村久美子さんです。

グローバル人材とは「多様な価値観を受け入れ、物事の背景を十分に推測できる想像力があり、その陰に
隠れている人々の状況を想像し、これはおかしいと常に考え、共に行動できるひと」との意見でした。各自
の経験からの地球市民とは、思いやりと心の共有を常に考える人になることとの結論といえます。

「創立130周年記念礼拝」報告

16:30分からは、10階のチャペルに場所を移して川岸清メン（常議員）の司会、和田早苗メン（常
議員）の奏楽により記念礼拝が開催されました。

大阪YMCA設立に深く関わった日本基督教団浪花教会の村山盛芳牧師のヨハネによる福音書12章23
節 26節を引用し、「多くの実を結ぶ」との説教の後、青少年育成のための「大阪宣言」調印式です。調印
者は、次の10カ国YMCA代表です。（韓国ソウル・台北・ドイツ・香港中華・シンガポールメトロポリタ
ン・ミャンマーマンダレー・台中・台南・南投そして大阪YMCA）

祝福の拍手のなか、次のホテルパーティーのため皆さん移動されました。

【大阪YMCA創立130周年記念パーティー】 会長 北村 知三

10月27日（土）30周年記念礼拝が終わったあと、約120名の記念礼拝の出席者がほとんどそのま
ま2台のバスに分乗し、「ザ・リッツカールトン大阪」の会場で行われた130周年記念パーティーに参加し
ました。

出席者は、受付で「グローバルシッププロジェクト」への寄付金として2万円を献じました。このプロジ
ェクトは130周年記念のファンドとして、アジアの青少年がアジアを中心に活躍できるようリーダーシッ
プ育成のために実施するものである、とのことでした。

6:30PM、芥川高校和楽部の高校生男女の豪快な大太鼓演奏から始まりました。中川善博大阪YMCA
A会長の開会挨拶、台北YMCAとソウルYMCAの祝辞挨拶がありました。続いて各国YMCAからの来
賓を含め出席者全員の紹介のあと、大阪YMCAの末岡祥弘総主事が「大阪宣言」の概要を説明し、大阪Y

MCAを含め各国10YMCAの代表者が登壇し、調印式が行われました。賛助会会長の山田集タキロン(株)名誉顧問の乾杯。NPO法人「六甲山と市民のネットワーク」から生まれた「六甲山の歌」から始まるソプラノ歌手の歌声とともに、数々のディナーディッシュをいただきました。ディナーの間も、大阪YMCAの130年の歴史を振り返るスライドの映写。各国YMCAとのギフト交換。ミャンマーとドイツのYMCA総主事の祝辞挨拶など。約2時間を長く感じさせないほど盛りたくさん、YMCAの雰囲気あるプログラムでした。

大阪クラブからは、脇本さんと北村が参加しました。

【YMCAのはたらき】

大阪YMCA総主事 末岡 祥弘

近隣諸国との関係悪化が喧しい9月初旬、上海から二人の青年が緊張の面持ちでやってきました。上海YMCAからソーシャルワーカーの男性スタッフ二人が大阪YMCAの高齢者事業を学ぶために来日したものです。

日中両国関係の緊張が高まっていた時で、迎える側も本人たちにもどこかに硬さがありましたが、いきいきエイジングセンター、サンホーム、中高齢者キャンプ等での利用者、スタッフ、ボランティアの方々との交流の中で徐々に気持ちは打ち解けていきました。

ある日、彼らと昼食を共にした時に、大阪での研修のひとコマを話してくれました。

「サンホームのデイサービスに行った時の事です。聞きなれた“上海語”が私の耳に飛び込んできたんです。デイ利用の高齢の男性が『よくきたね』と挨拶をしてくれたのです。東大阪で、高齢者介護施設で、突然に上海語で話しかけられた事に私はびっくりしました。そして、その方の話にもっと驚いたのです。『私は昔、上海の日本人租界に住んでいた。当時は難しい時代だったが、中国の人と一緒に働いた楽しい思い出が一杯あります。今日は貴方とゆっくり上海のお話をしたい。』そこでの一時間ばかりの話は、小さい時から祖父が私に語ってくれていた話と全く同じ内容だったんです。『上海で日本人と一緒に仕事をして、一緒に食事をして嬉しい事も一杯あったんだよ。』祖父の語る日本人との思い出は、学校で私が習った内容とは大きく異なっていて、今まで家族以外には友人にも話すことはできませんでした。実は内心“本当だったのだろうか”と疑っていました。大阪のデイ利用者の方と会って初めて同じ話をすることができたんです。“本当だったんだ”。私は上海へ帰ってこの話を必ず祖父と家族、友達に伝えます」

“小さな”偶然の出会いです。しかし彼には大きな経験でした。小さな現実の中にこそ真実が見えてきます。人と人との理解や絆は、小さな行いと友情の積み重ねでしか形作られていかないのでしょうか。YMCAはこの積み重ねを営々と130年間続けており、今日もどこかのYMCAで“小さな”出会いがなされています。

彼が上海に帰ったその日にメールが送られてきました。

「Thank you again to let me have such a nice learning in Osaka YMCA. Hope I will have chance to come to Osaka YMCA again ,and welcome to Shanghai. I love Osaka ,I love Osaka YMCA . ありがとうございます God with us 」

【第1回HHキャンプリーダー会記録】

田尻 忠邦

日時：2012年10月11日(木)午後6時30分～8時30分

場所：大阪YMCA6階607号室

出席者：高土、桜木、小山、勝矢

欠席者：西村(智)、吉田

1. 役員人選

会 長：西村智恵 副会長：高土雄輔 書 記：勝矢千晶 書記補佐：吉田亜衣
会 計：小山麻利 会計補佐：桜木貴博

2. 運営委員会

- 1) 運営委員会は月に1回とする。
- 2) 議題は、正副会長が決める。(事前に話し合って決めておく)
- 3) リーダー会の日程決めについて
 - ・2カ月前までに決めていく。
 - ・拡大基金委員会が行われる日の前に行く。
 - ・日程が、決まったら会長から連絡を流す

3. 役員規定(案)

- 1) 役員任期は一年とする。(10月1日～翌年の9月30日までとする)
- 2) 会費は、入会費として1口1200円(1年間)を諸活動費にあてる。例)キャンプ場の下見等

4. リーダー会設立目的について(案)

- ・聴覚障がい者が、現代社会において適応できる力を養うとして、聴者と対等な関係を構築し、快適な生活を送れることを目的とする。
- ・3.4.については、一応まとめたが、次回拡大基金委員会の時に、大阪クラブの方の意見も聞いてから、決定する予定。
- ・運営費についても、どのように運用していくかは、15日に意見交換をする。

5. 土佐堀カーニバルについて

- ・今年の参加者は、高土、田淵さん、西村さん、辻君(?)
 - ・当日の参加人数が少ないので、手話教室を中止にして、キャンプの報告や写真を展示する形はどうか?(條先生が、人が少ない事で心配されている。)
 - ・写真展示の準備について：時間がないことから、15日のとさぼりカーニバル拡大実行委員会の日に、各々過去のHHキャンプ時の写真・報告書を持ってくる。
- (理由)

カーニバルの準備日を10月30日に設定。

時間不足を考慮して、あらかじめ写真、報告書を持ち寄り、拡大委員会が終わった後、どこかの喫茶店で、写真のセレクトを行い時間短縮を図るため。

6. 15日のとさぼりカーニバル拡大実行委員会について

- ・15日の拡大委員会の時に依頼&確認するもの(模造紙、マジック、TV&DVDデッキ)
- ・模造紙については、誰が用意するのか?を確認。
- ・マジックは、去年田尻さんが用意して、YMCAのどこかに保管してくれてるはず。(模造紙も残ってるかも?)

7. リーダー会の会費について

15日の拡大委員会の時に、会費(1200円)を集めた方がいいのではと、意見がありましたので、念のためご用意のほどお願いします。

8. その他

1) 次回のリーダー会について

- ・11月は15日(木)開催予定。(高土さん、西村さんで協議のうえ、15日であれば田尻さんに、部屋の予約をお願いしてください。また、10月30日の準備のためにも、部屋の予約をお願いします。)桜木、小山、勝矢、高土の都合がつく日程として、10月30日、11月15日としました。

2) リーダー会議の途中、田尻さんが顔を出されて、OB・OGのネットワークを利用して過去のHHキャンプのメンバーにもHHキャンプリーダー会について声をかけてみてくださいとのことでした。

【YMCAニュース】

とさぼりカーニバル2012

日時：11月3日(祝・土) 11:00~15:00 場所：大阪YMCA会館

祈祷週プログラム(11月第2週)

~暴力権利はない 人権と尊厳の尊重を目指して ~ 祈祷週のつどい「音楽と交わり」

日時：11月12日(月) 18:30~20:30 場所：大阪YMCA会館10Fチャペル

内容：賛美歌を楽しむ・メッセージ(岡村恒牧師)・軽食

2012世界YMCA/YWCA合同祈祷週

~暴力権利はない 人権と尊厳の尊重を目指して ~

日時：11月15日(木) 18:30~20:30 場所：関西韓国YMCA 1Fホール

プログラム：

第1部 礼拝・メッセージ 金 必順(キム ヒルスン)牧師(在日大韓キリスト教会全国女性連合会総務)

第2部 お食事と交流のひとつき

参加費：無料(席上献金を捧げます。)

第235回大阪YMCA早天祈祷会

日時：11月16日(金) 7:30~8:30 場所：大阪YMCA会館10Fチャペル

証し：湯浅 禎也さん(大阪西ワイズメンズクラブ)

クリスマスチャリティーロビーコンサート

日時：12月4日(火) 18:30~ 場所：大阪YMCA会館1Fロビー

内容：Blue Grass バンド [Backwoods Mountaineers]コンサート

【今後の行事予定】

今後の行事は、次のとおりです。積極的な参加をお願いします。

1. 土佐堀カーニバル・・・11月3日(土)
2. センテニアルクラブ30周年例会・・・11月17日(土) 受付13:30 於：ホテルグランヴィア大阪
3. 「こころのケアを考える」講習会・・・12月8日(土) 13時30分~17時30分(受付、開場13時)

大阪YMCA会館 9F 902号室

参加希望者は、牟 大盛書記宛(090-8195-0914 fax 06-7397-3337)ご連絡ください。

【CSより】

献品は下記住所をお願いします。

「釜ヶ崎いこいの家」 〒557-0004 大阪市西成区萩之茶屋2-5-23 : (06)6631-2169

【編集後記】

ようやく衣替えとなりました。気がつけば、年末・正月がすぐです。今年も1年が過ぎようとしています。

時間の流れは、後戻りしません。一日一日が大切です。(編集委員：松原伸幸)